

ちやもく 公共施設!

5分で読める
公共施設のこと

公共施設マネジメントシリーズ

問い合わせ

企画政策課 内線224



No.13

「公共施設アンケート調査」 「ひがしうら公共施設未来会議」 「公共施設マネジメント講演会」 のお話

令和4～5年度にかけて、「東浦町公共施設再配置計画」の策定を進めています。今回は、令和4年12月までに行った取り組みを紹介します。

01 公共施設のあり方に関するアンケート調査

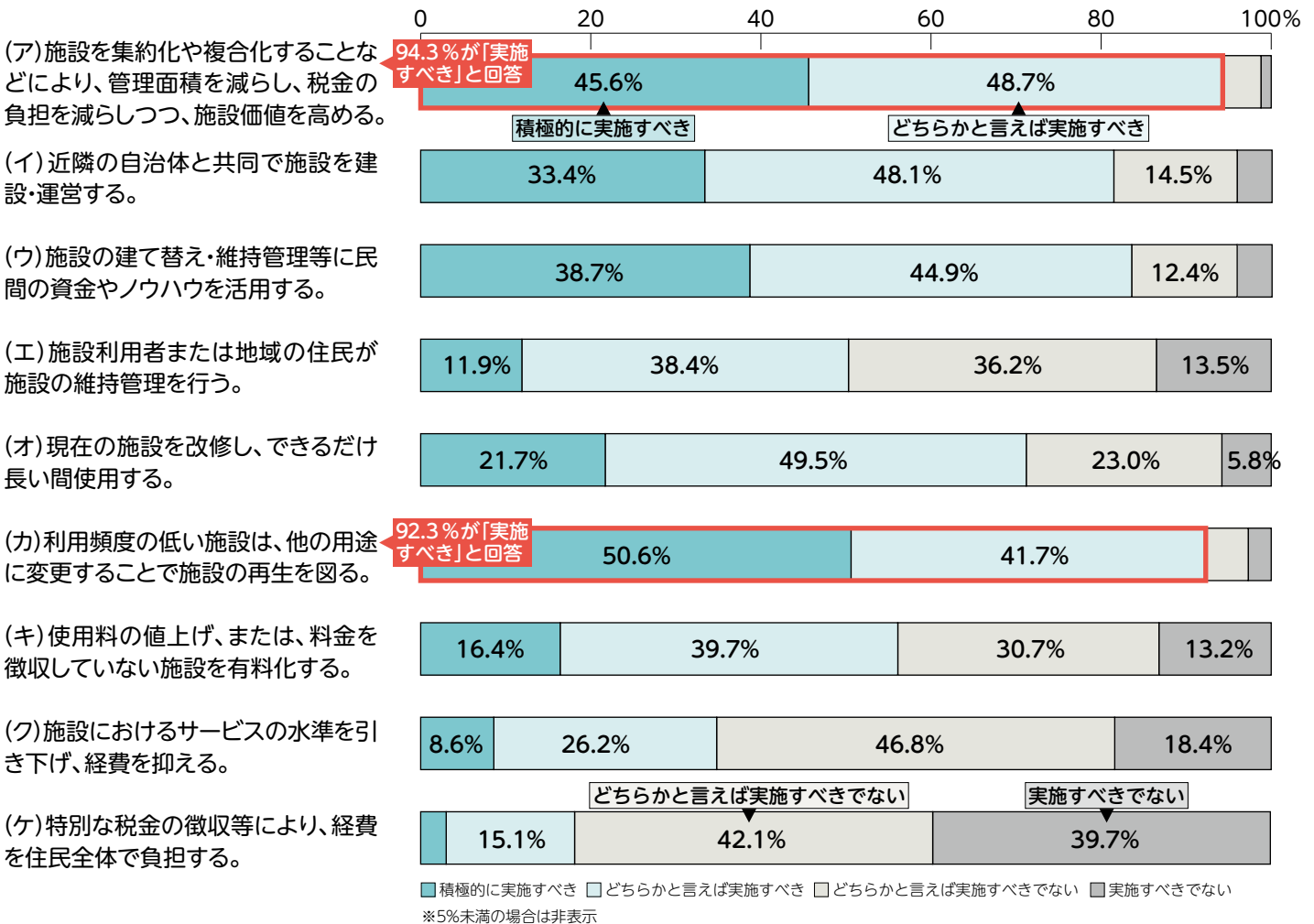
ご協力ありがとうございました

公共施設に対する意識や利用状況などの結果を、今後の方向性や再編を検討するにあたっての基礎資料とするために実施しました。

対象：町内在住の16歳以上の3,000人。
そのうち、995人から回答をいただきました。

結果の一例

Q 公共施設の課題の解決に向け、様々な視点・取り組みを検討する必要があり、どう思うか。



公共施設の課題解決に向け、集約化・複合化や、低利用施設の用途変更により施設の有効利用を図るほうが良いと、多くの方が思っていることが分かりました。その他の回答は町ホームページで公開しています。



02 ひがしうら公共施設未来会議 ～Future Session @ Higashiura～

これまで、行政に声を届ける機会の少なかった「多くの声なき声（サイレント・マジョリティ）」の意見を聞くために、公共施設のあり方に関するアンケート調査の対象者3,000人の中から希望者を募り、参加していただきました。

ひがしうら公共施設未来会議で出た意見を参考に、町職員による作業部会や、学識経験者を含む検討委員会で検討を進めていきます。



こんなことを考えました!	各グループで出た意見	ポイント
町内に1つだけ必要な施設	役場、文化センター、給食センター、勤労福祉会館、体育館	「本当に必要な施設って何だろう?」ということ深く考えました。
地区内に1つは必要な施設	小学校、コミュニティセンター、保育園 など	
集約化・複合化ができそうな施設	「学校+コミュニティセンター+児童館+老人憩の家」、 「中央図書館+郷土資料館」、 「学校+体育館」 など	集約化や複合化により、サービス向上や相乗効果が期待できると思われる施設について考えました。
廃止やむなしと思われる施設 (廃止する施設の機能に対するアイデア)	老人憩の家(老人クラブに運営を任せる)、町営住宅(民間移譲)、児童館(他施設との複合化) など	施設の廃止だけではなく、今まであった機能をどうしていくかについて、様々な再編アイデア(用途変更や民間提供など)を考えました。

参加者の声



- ・公共施設のあり方について、行政任せではなく、私ごととして考えねばならないと感じました。
- ・子育て世代、若者世代などとは必要と考える施設の考え方に差があり、興味深かったです。合理化を推し進めることが、みんなにとって必ずしもよい考えとは限らず、自身の考え方をより深める必要性があると感じました。

03 公共施設マネジメント講演会

公共施設の更新には、皆さんが公共施設をどのように使いたいが大切です。そこで、「公共施設の新しいカタチって何だろう?」をテーマに、名古屋大学大学院環境学研究科教授の小松尚氏を招いて、人口減少や財源問題を踏まえて、将来にわたって持続可能な公共施設のあり方を考えるきっかけにするため、講演会を開催しました。

●こんなお話がありました。

- ・学校を核にして、他の公共施設を集約しながら「あたらしい地域の拠点をつくる」という発想で。
- ・住民の皆さんが「自分ごと」として考え、将来どのように使いたいかを「共創」して考えていく。
- ・「できること」「できる地域」から始めるのも一手。



施設マネジメント キーポイント①

少子高齢化や人口減少などで、50年や100年後に同じ用途である保証はありません。将来、他の用途でも使えるように構想段階から考える必要があります。

施設マネジメント キーポイント②

「『成長と開発』から『集約と再編』の時代へ」といった、現状と将来に関する課題の認識を持つことが大切です。